



# 広島県内経済情勢報告

～広島県の経済情勢について～

令和 8 年 8 月 5 日  
財務省 中国財務局

【お問い合わせ先】  
中国財務局経済調査課  
電話 (082) 221-9221

## 1. 総論

### 【総括判断】「県内経済は、緩やかに回復しつつある」

| 項 目  | 前回（8 年 4 月判断）                 | 今回（8 年 7 月判断） | 前回<br>比較                                                                            |
|------|-------------------------------|---------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 総括判断 | 一部に弱さがみられるものの、<br>緩やかに回復しつつある | 緩やかに回復しつつある   |  |

（注）8 年 7 月判断は、前回 8 年 4 月判断以降、足下の状況までを含めた期間で判断している。

#### （判断の要点）

個人消費は、緩やかに回復しつつある。生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

### 【各項目の判断】

| 項 目        | 前回（8 年 4 月判断）             | 今回（8 年 7 月判断）   | 前回<br>比較                                                                              |
|------------|---------------------------|-----------------|---------------------------------------------------------------------------------------|
| 個人消費       | 一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある | 緩やかに回復しつつある     |    |
| 生産活動       | 緩やかに持ち直しつつある              | 緩やかに持ち直しつつある    |  |
| 雇用情勢       | 緩やかに改善しつつある               | 緩やかに改善しつつある     |  |
| 設備投資       | 7 年度は前年度を下回る見込み           | 8 年度は前年度を上回る見込み |  |
| 企業収益       | 7 年度は増益見込み                | 8 年度は増益見込み      |  |
| 企業の<br>景況感 | 「下降」超となっている               | 「下降」超幅が拡大している   |  |
| 住宅建設       | 前年を上回る                    | 前年を下回る          |  |
| 輸出         | 前年を上回る                    | 前年を上回る          |  |

### 【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかに回復していくことが期待されるものの、中東情勢や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

## 2. 各論

### ■ 個人消費 「緩やかに回復しつつある」

業態別にみると、家電大型専門店販売は、9年4月の省エネ基準引上げを控えエアコンの駆け込み需要がみられているほか、サッカーワールドカップの開催に伴いテレビが好調で、前年を上回っている。スーパー販売は、時短志向の継続のほか、ゴールデンウィークなどのイベント時におけるハレの日需要により寿司や総菜などが好調で、前年を上回っている。ドラッグストア販売は、気温高により日焼け止めや殺虫剤などの季節関連商品が好調で、前年を上回っている。乗用車販売（新車登録・届出台数）は、新型車効果などから前年を上回っている。このように、個人消費は、緩やかに回復しつつある。

（主なヒアリング結果）

- 9年4月の省エネ基準引き上げを控え、エアコンの駆け込み需要がみられている。また、サッカーワールドカップの開催に伴い、大型・高品質のテレビも好調となっている。（家電大型専門店）
- 共働き世帯の増加などを背景に時短志向が継続しているほか、ゴールデンウィークなどのハレの日需要により、寿司や総菜が好調だった。最近では、価格志向に加え、多様な商品を楽しみたいというニーズから、大容量のオードブルより、小容量の総菜を複数購入する傾向がみられる。（スーパー）
- 前年に比べ花粉の飛散量が少なかったため、目薬などの花粉症関連対策商品は低調だったが、例年に比べて気温が高かったことから、日焼け止めや殺虫剤、飲料、アイスなどの季節関連商品が好調だった。（ドラッグストア）
- 新型車効果のほか、「自動車税環境性能割」の廃止による購入負担の軽減から、販売台数は増加している。（自動車販売）
- 3月はイースター休暇もありインバウンドが多かったほか、5月は天候にも恵まれたことから観光客数は安定的に推移しており、引き続き観光需要は底堅い。（宿泊業）

### ■ 生産活動 「緩やかに持ち直しつつある」

輸送機械は、新型車の投入効果により国内外で需要が堅調なことなどから、増加している。電気機械は、半導体市況の改善を受け需要が堅調なことなどから、増加している。一般機械は、生成AI向けを中心に半導体製造装置の需要が好調なことなどから、増加している。鉄鋼は、自動車向けや造船向けの需要が堅調なことなどから、増加している。プラスチック製品は、ノートパソコン向けの需要が低調なことなどから、減少している。このように、生産活動は、緩やかに持ち直しつつある。

- 新型車の投入効果により、国内外で需要が堅調なことなどから、生産量が増加している。（輸送機械）
- 半導体市況の改善を背景に、半導体需要が堅調に推移していることから、フル操業が続いている。（電気機械）
- 生成AI向けが牽引する形で半導体製造装置に対する需要が好調なことから、高水準の操業を維持している。（生産用機械）
- 自動車向けの需要に加え、船舶の建造需要を背景とした造船向けの需要も堅調なことから、生産量が増加している。（鉄鋼）
- メモリを中心とした半導体の供給不足を背景に、ノートパソコンやタブレット端末の価格が上昇し、需要が減少している。これに伴い、ノートパソコン向けなどの需要が低調となっており、生産量が減少している。（プラスチック製品）

### ■ 雇用情勢 「緩やかに改善しつつある」

有効求人倍率は、緩やかに低下しているほか、新規求人数は、前年を下回っている。一方、法人企業景気予測調査（8年4-6月期）の従業員数判断BSIでみると、製造業・非製造業いずれにおいても前期に比べて「不足気味」超幅は拡大しており、人手不足を背景に企業の採用意欲が高い状況にある。このように、雇用情勢は、緩やかに改善しつつある。

- 企業の人手不足は続いており、人材確保のため、賃金の引上げや休日数の増加など、労働条件の改善に向けた取組が進められている。（人材・職業紹介）
- 半導体業界の好況を背景に受注が拡大するなか、研究・開発を担うエンジニアの不足が続いており、WEB面接を活用した新卒採用や人材紹介会社を通じた中途採用を積極的に行うなど、中長期的な視点で優秀な人材の確保に取り組んでいる。（情報通信機械）
- 今後の店舗数拡大を見据え、働き方に関するニーズの多様化に対応した就業環境の整備を進めることで採用力の強化を図るほか、外国人材の活用やセルフレジ、AI発注システムの導入による省人化を推進している。（小売業）

■ 設備投資 「8年度は前年度を上回る見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、「鉄鋼」などで減少するものの、「その他製造」、「非鉄金属」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。
- 非製造業では、「運輸・郵便」などで減少するものの、「電気・ガス・水道」、「金融・保険」などで増加することから、全体では前年度を上回る見込みとなっている。

- 新製品の量産体制構築に向けて、工場新設などの生産能力増強投資を予定している。(その他製造)
- 発電関連の大型設備投資を予定している。(電気・ガス・水道)

■ 企業収益 「8年度は増益見込み」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 製造業では、「化学」などで増益となるものの、「生産用機械」、「自動車」などで減益となることから、全体では減益見込みとなっている。
- 非製造業(除く「電気・ガス・水道」、「金融・保険」)では、「建設」などで減益となるものの、「学研究・専門・技術サービス」、「卸売」などで増益となることから、全体では増益見込みとなっている。

■ 企業の景況感 「『下降』超幅が拡大している」 (全産業) 「法人企業景気予測調査」8年4-6月期

- 企業の景況判断BSIは、「下降」超幅が拡大している。なお、先行きは「下降」超幅が縮小する見通しとなっている。

■ 住宅建設 「前年を下回る」

- 新設住宅着工戸数でみると、持家が増加しているものの、給与住宅、貸家などが減少していることから、前年を下回っている。

■ 輸出 「前年を上回る」

- 輸出(円ベース)は、自動車、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別では、アフリカなどで減少しているものの、アジア、北米などで増加している。  
なお、輸入(円ベース)は、化学製品、電気機器などが増加していることから、前年を上回っている。地域別ではアジア、アフリカなどで増加している。

# 広島県内経済情勢報告

(令和8年8月5日)

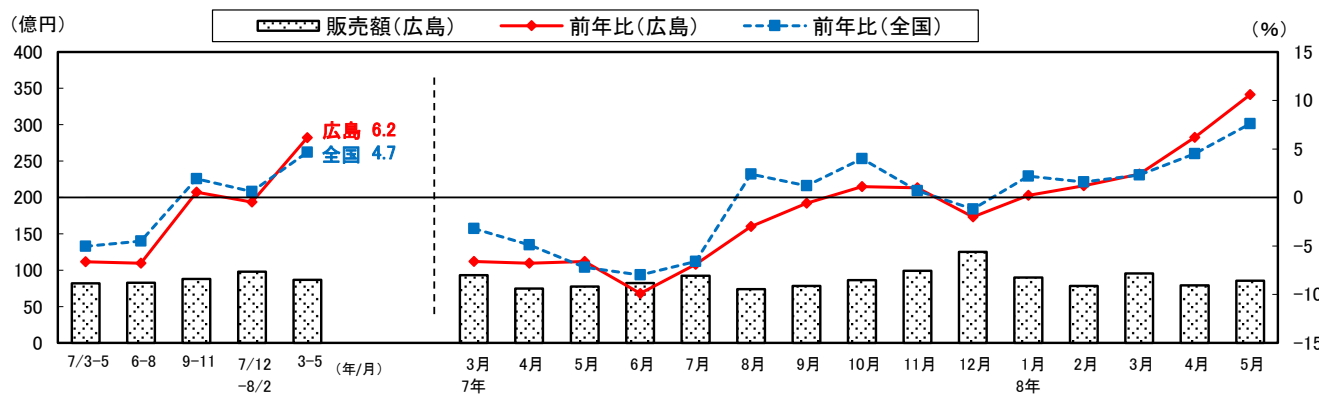
## 資料編

| 目次 |       |     |     | ページ     |
|----|-------|-----|-----|---------|
| 1. | 個     | 人   | 消 費 | ----- 1 |
| 2. | 生     | 産   | 活 動 | ----- 3 |
| 3. | 雇     | 用   | 情 勢 | ----- 4 |
| 4. | 設     | 備   | 投 資 | ----- 5 |
| 5. | 企     | 業   | 収 益 | ----- 5 |
| 6. | 企 業 の | 景 況 | 感   | ----- 6 |
| 7. | 住 宅   | 建 設 |     | ----- 6 |
| 8. | 輸     |     | 出   | ----- 7 |

# 1. 個人消費 緩やかに回復しつつある

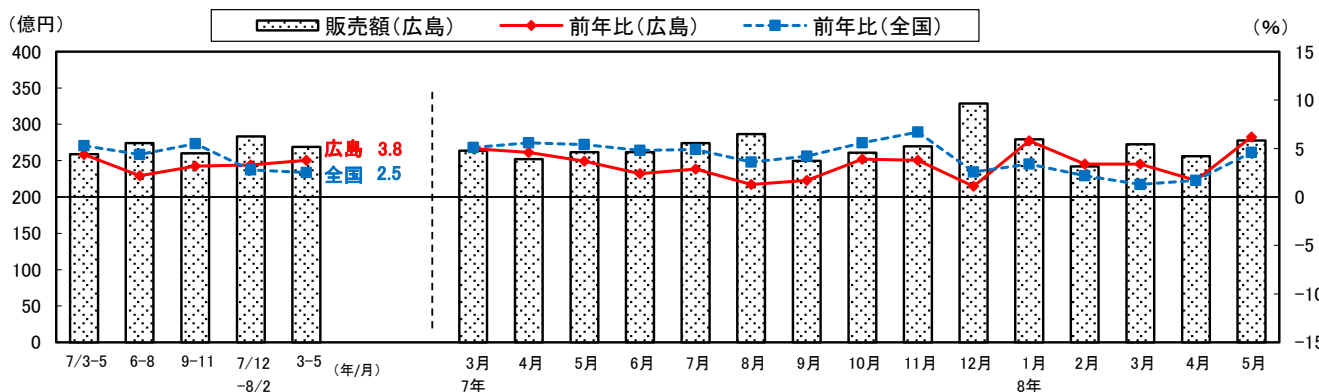
## (1) 百貨店販売額(全店舗)

(注) (1)～(6)の各グラフの3か月毎の販売額は、1月あたりの平均を表示



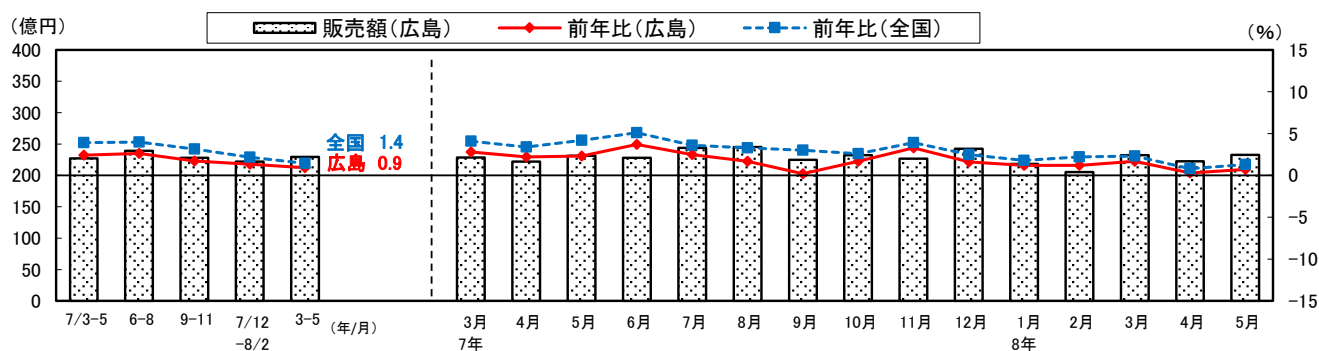
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (2) スーパー販売額(全店舗)



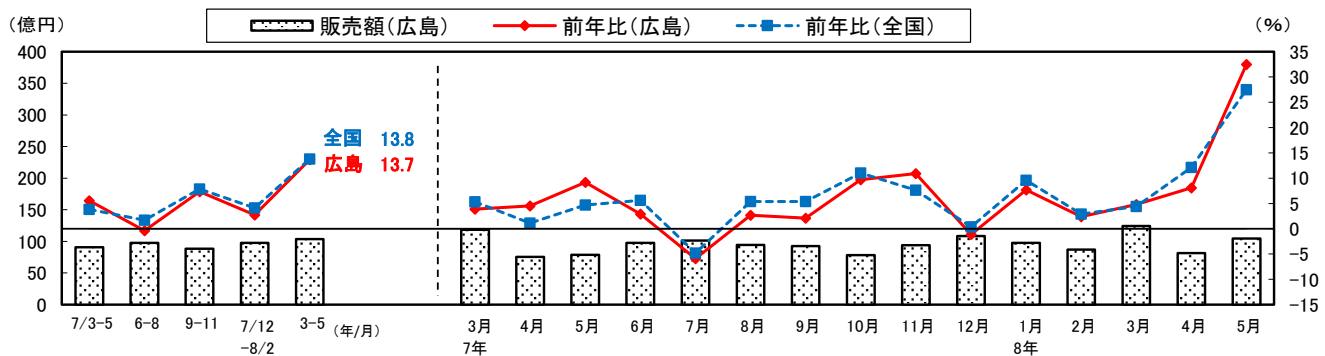
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (3) コンビニエンスストア販売額(全店舗)



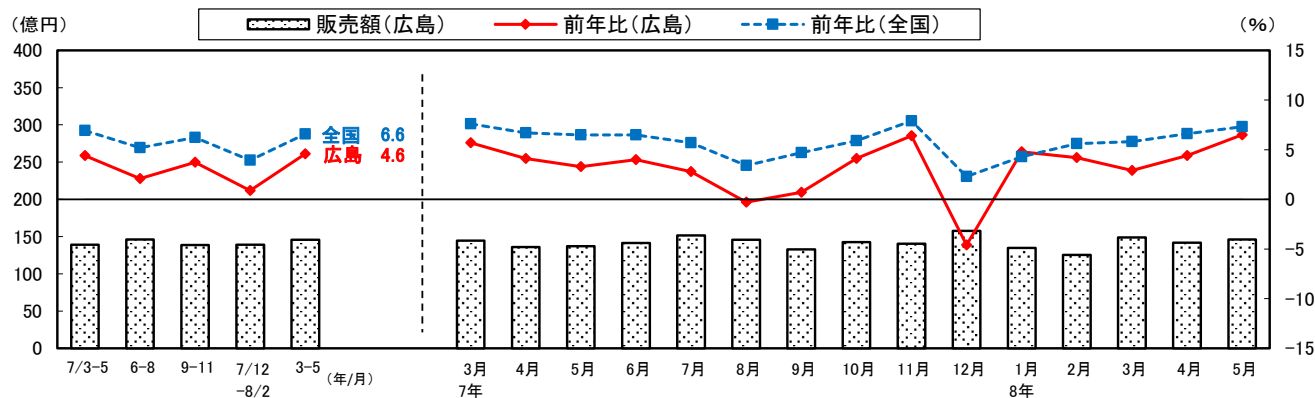
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (4) 家電大型専門店販売額(全店舗)



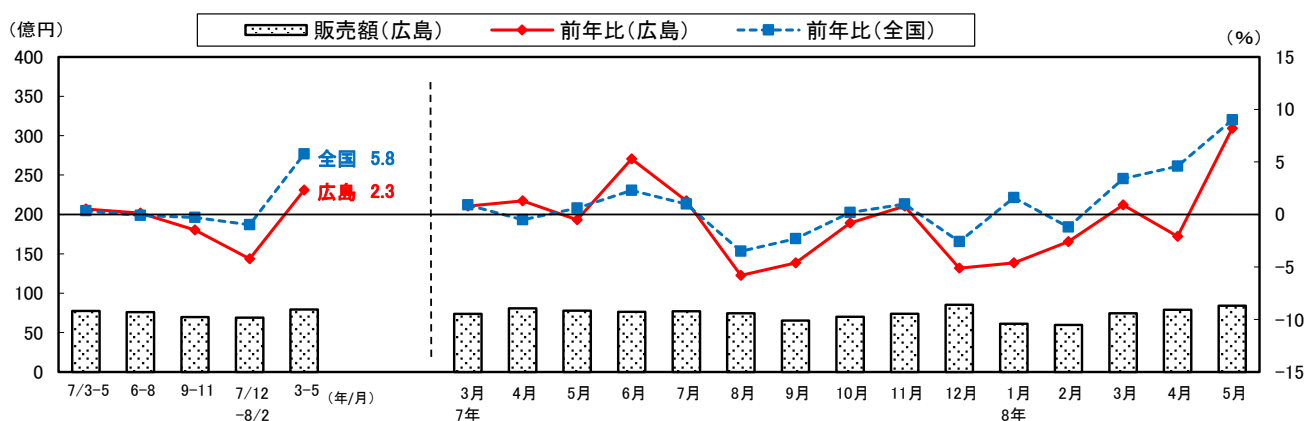
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (5) ドラッグストア販売額(全店舗)



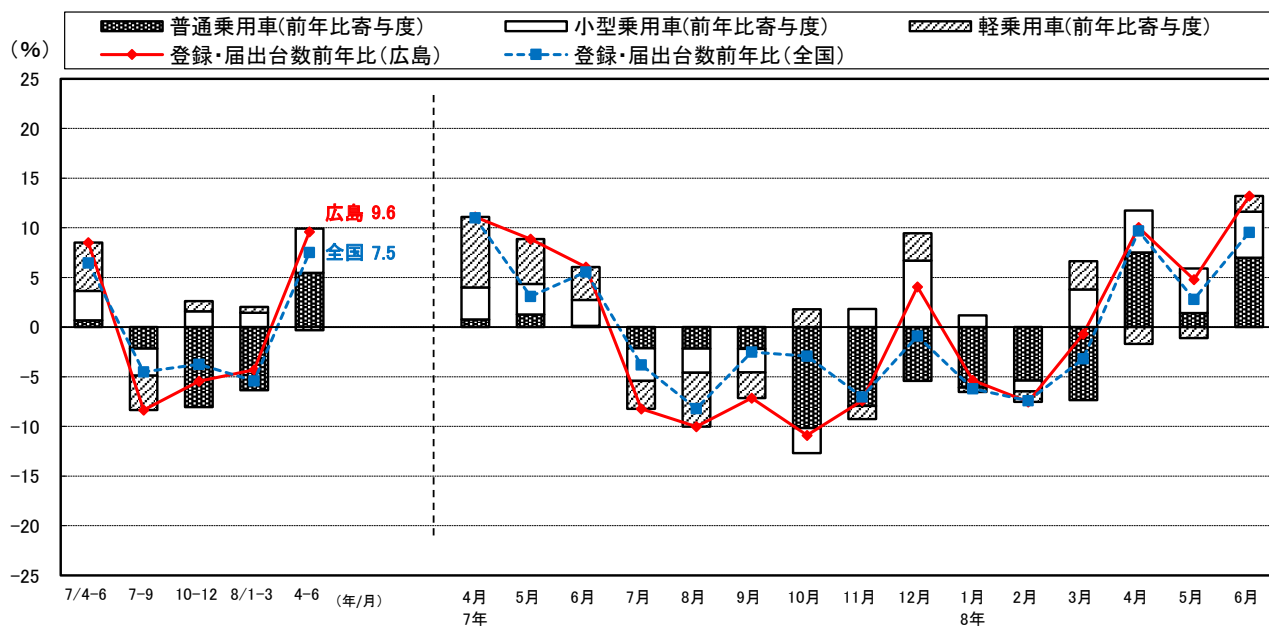
(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (6) ホームセンター販売額(全店舗)



(資料出所: 経済産業省、中国経済産業局)

## (7) 乗用車販売(新車登録・届出台数)

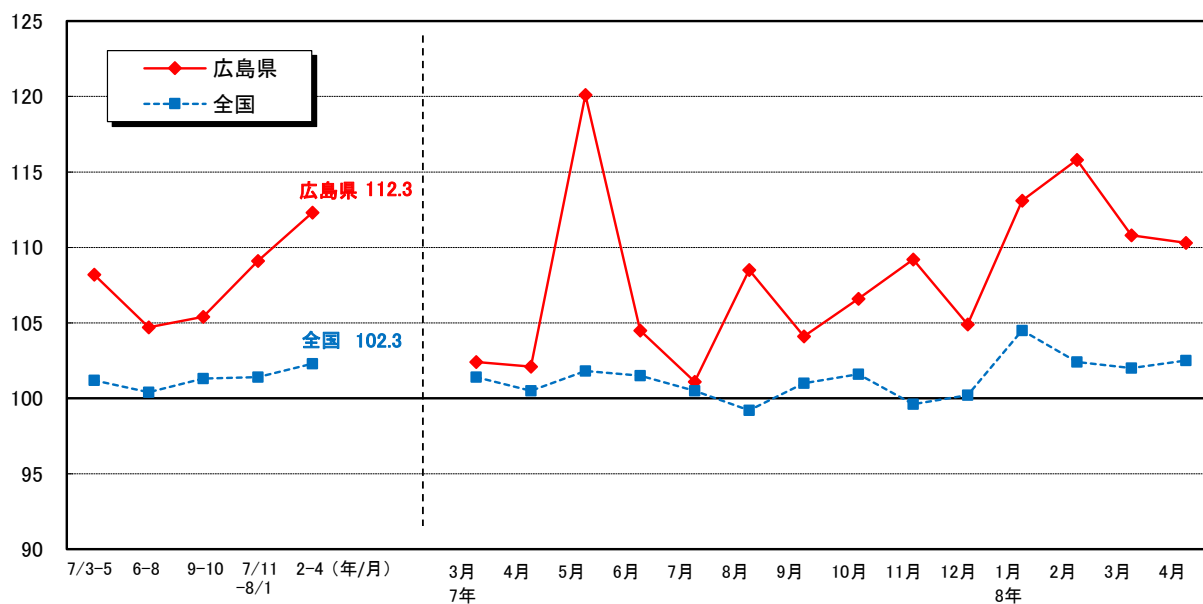


(資料出所: 中国運輸局、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車販売協会)

## 2. 生産活動 緩やかに持ち直しつつある

(1) 鉱工業生産指数(季節調整値)

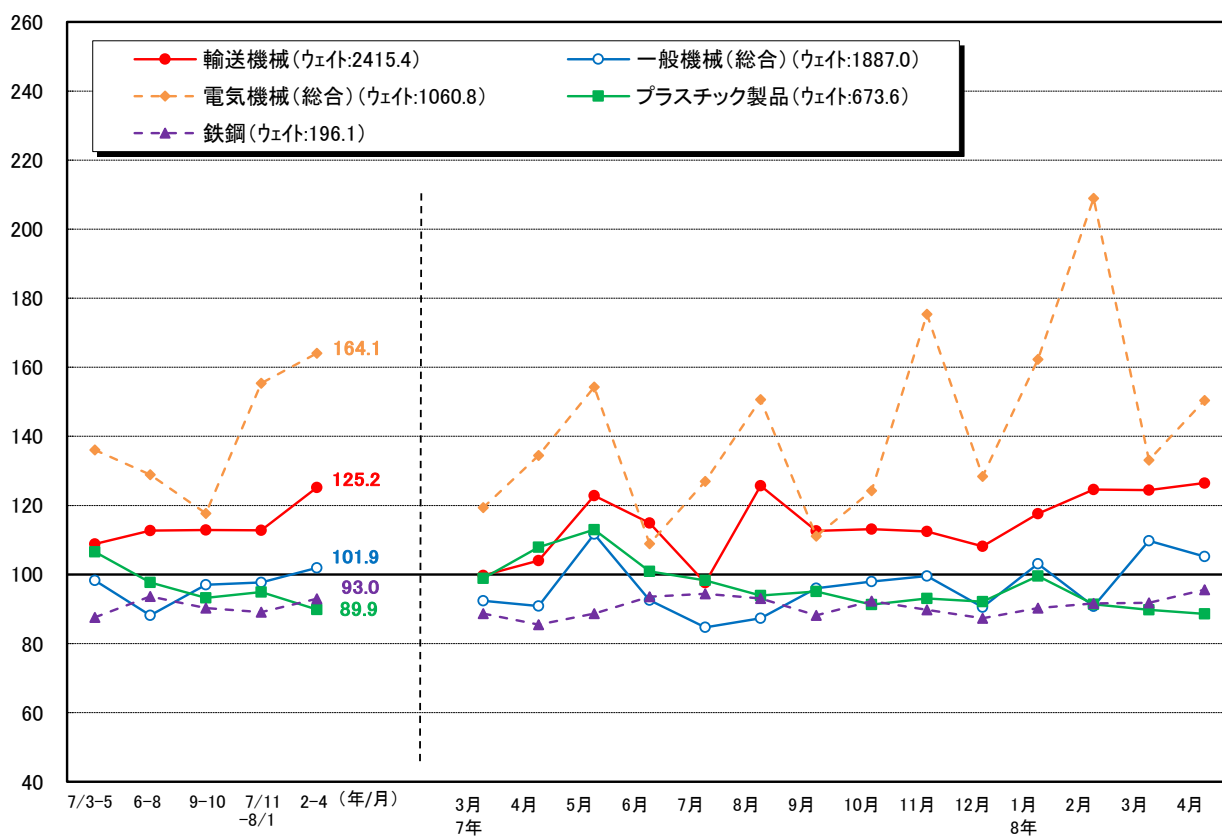
(指数) (令和2年=100)



(資料出所: 経済産業省、広島県)

(2) 県内主要業種別生産指数(季節調整値)

(指数) (令和2年=100)

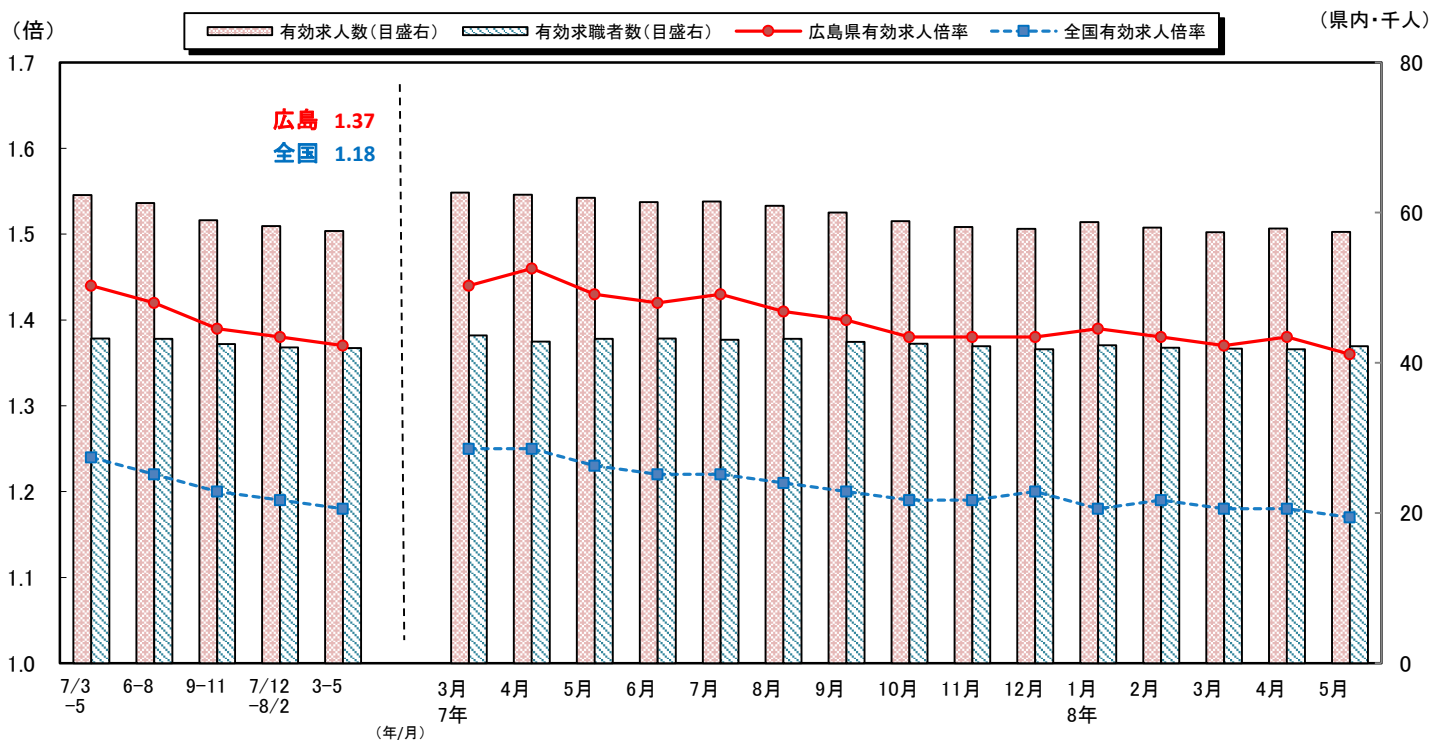


(資料出所: 広島県)

### 3. 雇用情勢 緩やかに改善しつつある

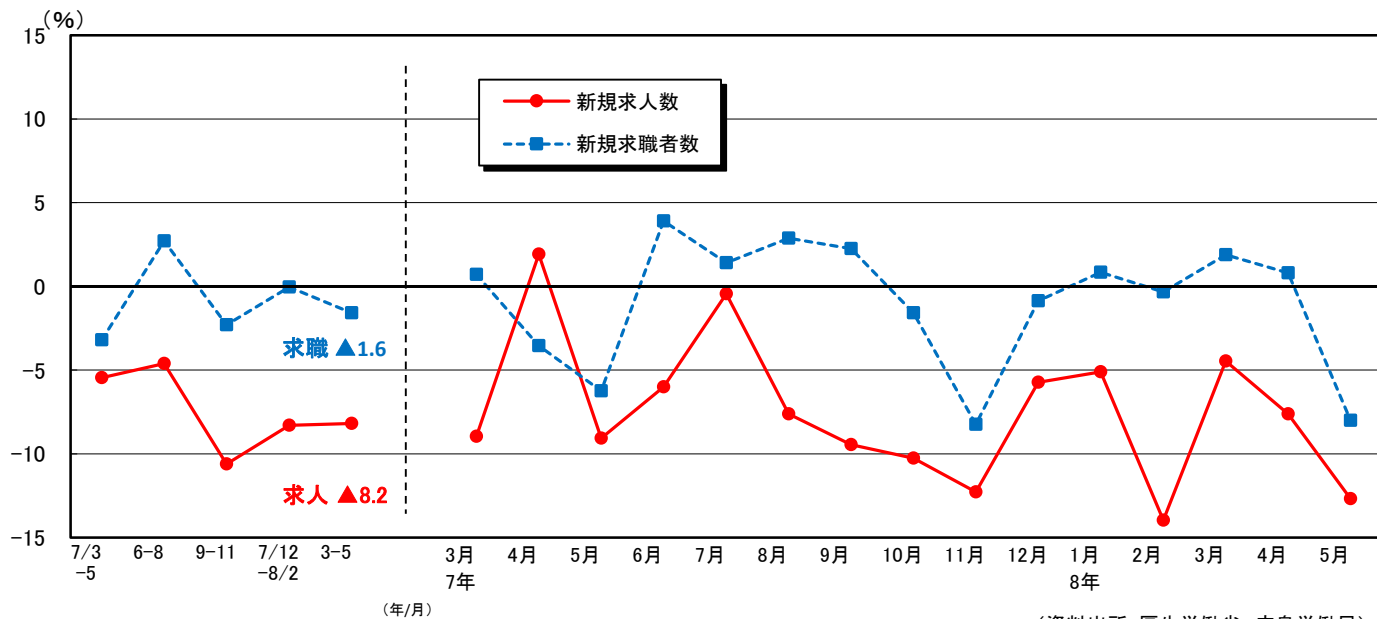
#### (1) 有効求人倍率、有効求人数・求職者数(学卒を除く、季節調整値)

(注)(1)のグラフの3か月毎の有効求人数と有効求職者数は、1月あたりの平均。



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

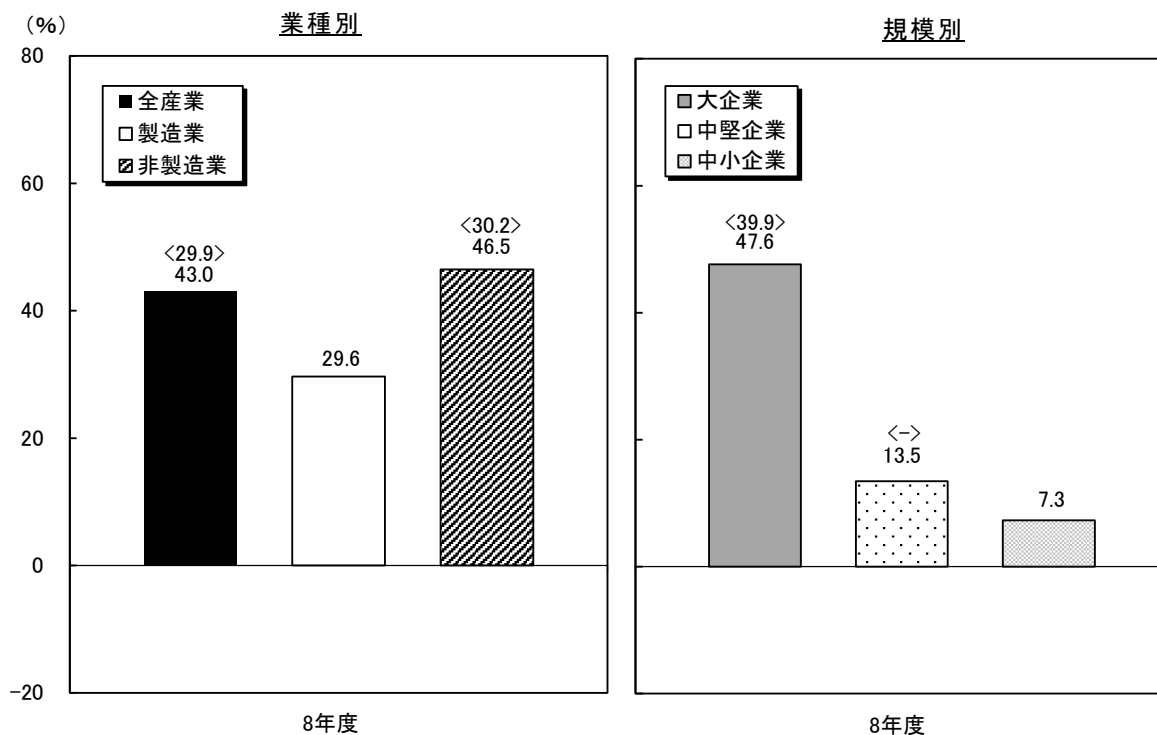
#### (2) 県内新規求人数・求職者数(学卒を除く、原数値)の前年比



(資料出所:厚生労働省、広島労働局)

#### 4. 設備投資 8年度は前年度を上回る見込み

設備投資額(前年度比)

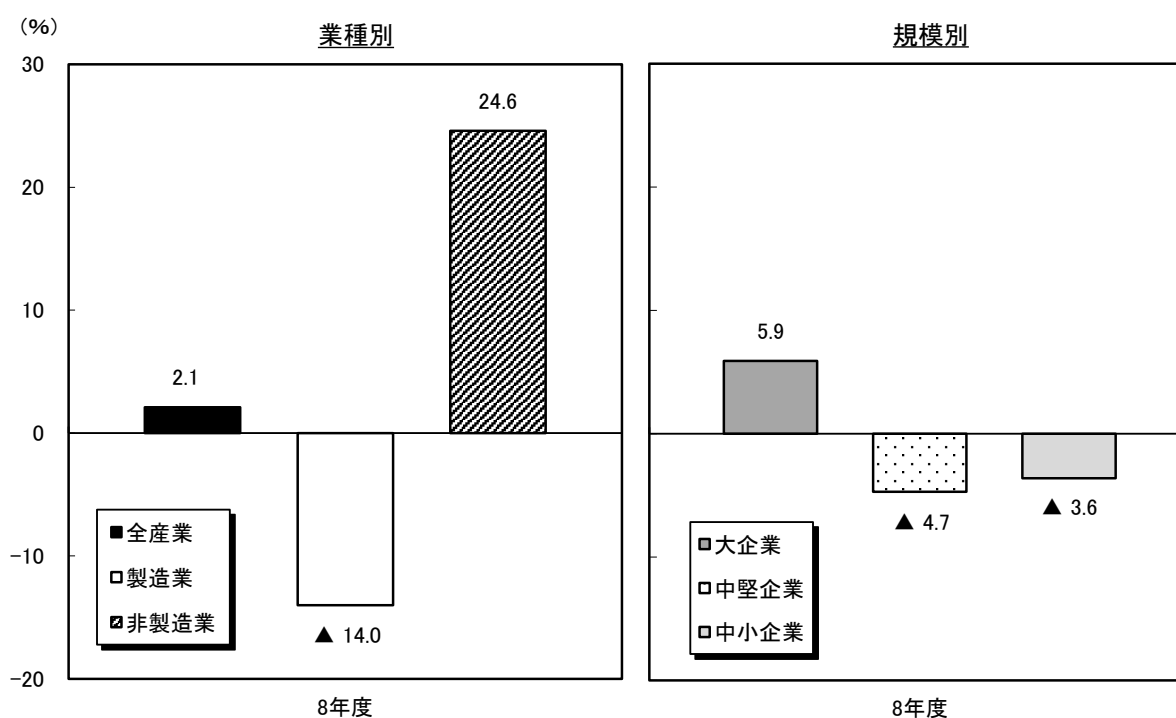


〈 〉書きは電気・ガス・水道業を除く前年度比

(資料出所: 中国財務局)

#### 5. 企業収益 8年度は増益見込み

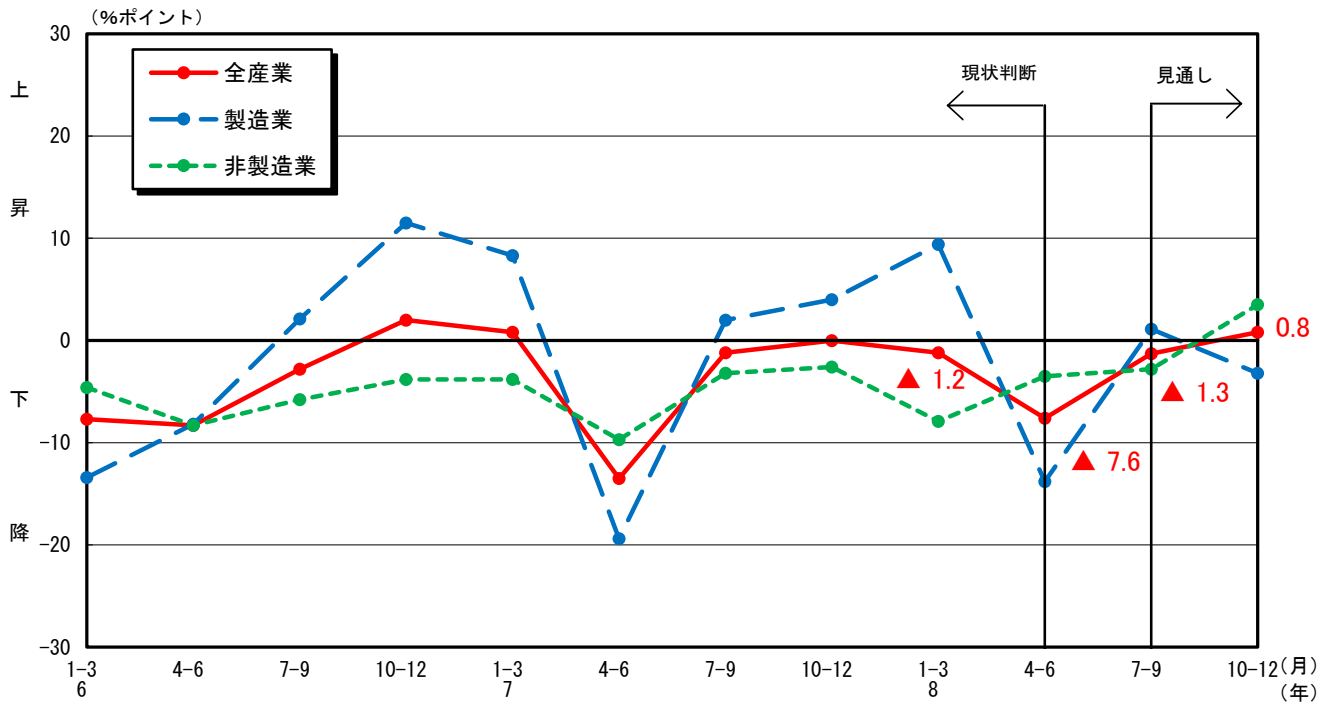
経常利益(電気・ガス・水道業、金融業、保険業を除く: 前年度比)



(資料出所: 中国財務局)

## 6. 企業の景況感 「下降」超幅が拡大している

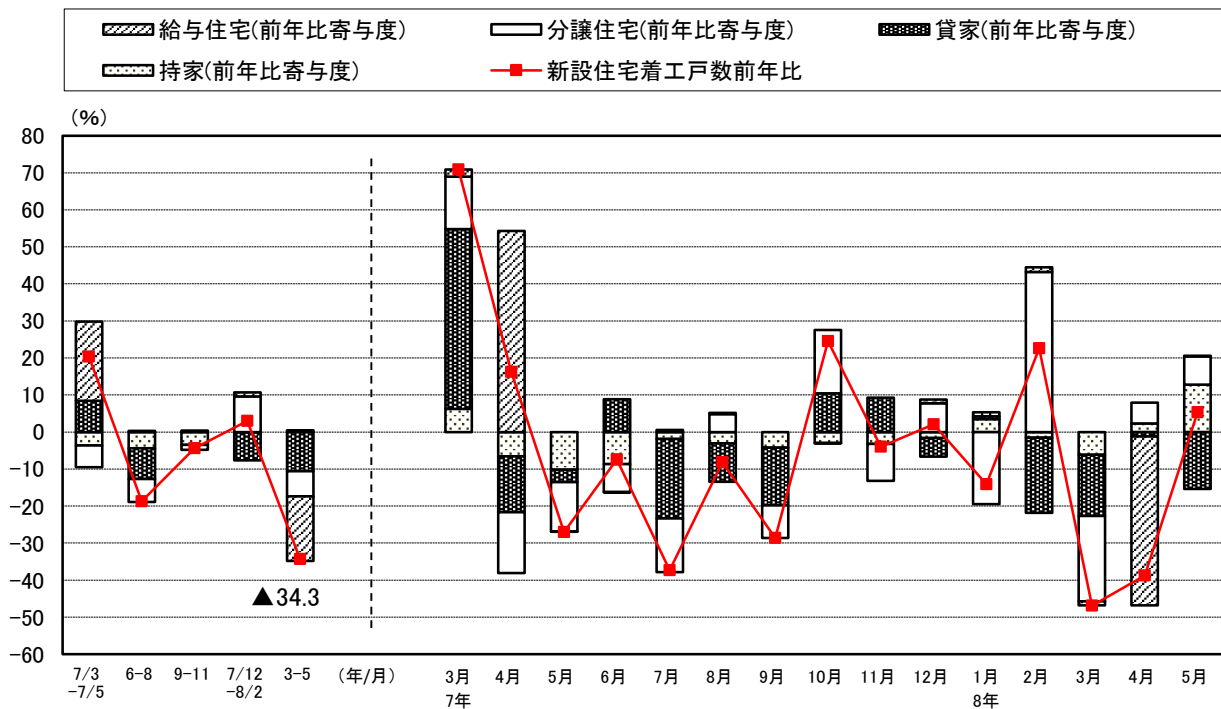
景況判断BSIの推移(原数値)(BSI: 前期比判断「上昇」-「下降」社数構成比)



(資料出所: 中国財務局)

## 7. 住宅建設 前年を下回る

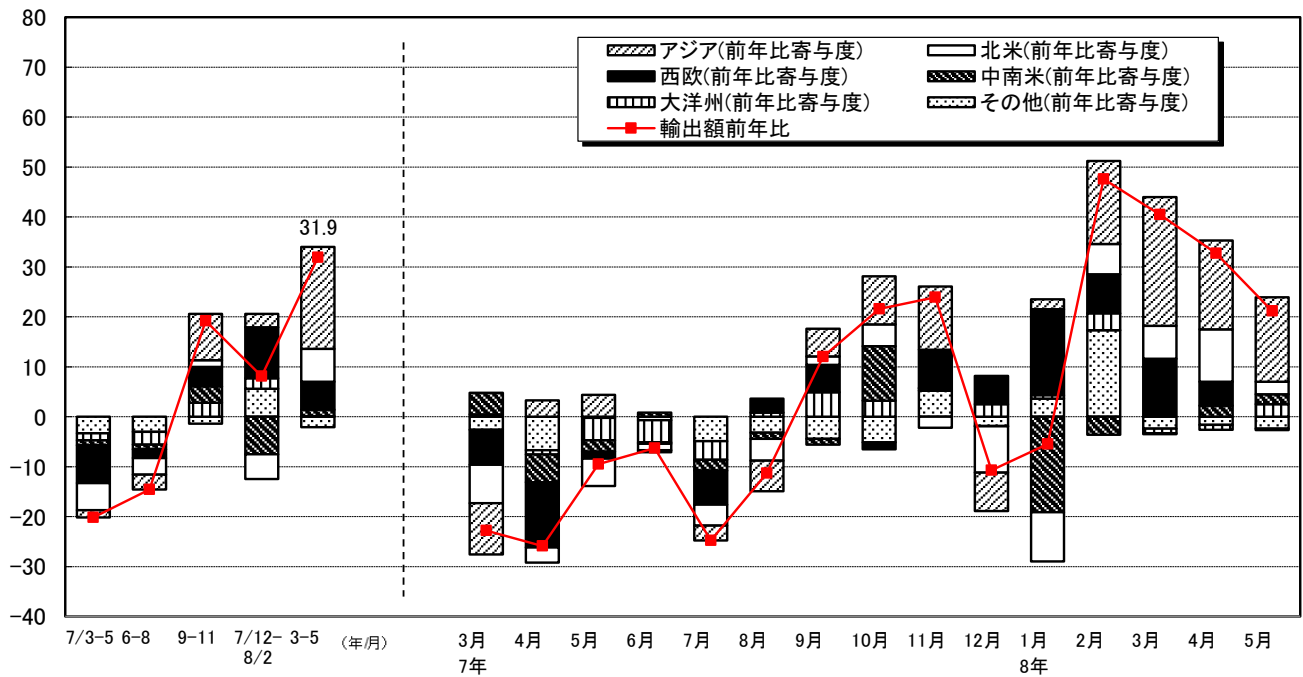
新設住宅着工戸数(前年比)



(資料出所: 国土交通省)

## 8. 輸 出 前年を上回る

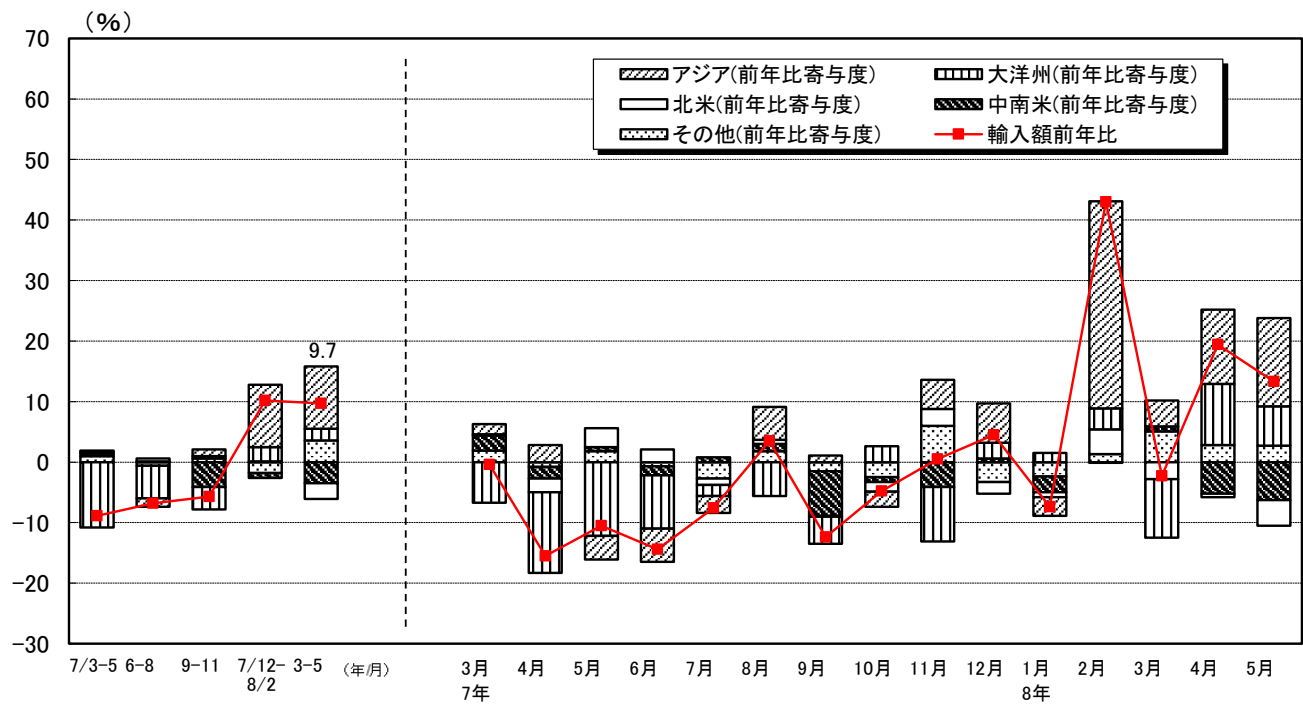
輸出(円ベース)  
(%)



(資料出所: 神戸税関)

<参考>

輸入(円ベース)



(資料出所: 神戸税関)